



2022年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月13日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東
 コード番号 7676 URL <https://goodspeed-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 靖幸 TEL 052 (933) 4092
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第2四半期の連結業績（2021年10月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第2四半期	25,827	25.1	355	79.8	228	128.9	110	△26.8
2021年9月期第2四半期	20,653	-	197	-	99	-	151	-

(注) 包括利益 2022年9月期第2四半期 110百万円 (△26.8%) 2021年9月期第2四半期 151百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第2四半期	34.90	33.74
2021年9月期第2四半期	49.87	48.70

(注) 2021年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第2四半期	24,866	2,035	8.1
2021年9月期	21,995	1,806	8.2

(参考) 自己資本 2022年9月期第2四半期 2,016百万円 2021年9月期 1,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	34.0	1,000	64.4	770	72.8	460	20.5	135.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期2Q	3,268,200株	2021年9月期	3,125,900株
② 期末自己株式数	2022年9月期2Q	52株	2021年9月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期2Q	3,174,505株	2021年9月期2Q	3,033,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が緩和される中で、国内経済は持ち直しの動きが見られております。しかしながら、ウクライナ情勢等による原材料価格の上昇や金融資本市場の変動による下振れリスクにより、景気の先行きは不透明な状態が続くと見込まれております。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、2021年10月から2022年3月までの国内中古車登録台数は、1,848,640台（前年同期比8.0%減）と前年同期間を下回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

このような厳しい状況の下、当社グループにおきましては、2021年12月に岐阜県岐阜市にグッドスピード車検岐阜店、2022年2月にグッドスピードMEGA SUV豊川御油店をオープンするなど、車、バイクにおける新車・中古車販売の拡大及び買取や整備・钣金・ガソリンスタンド、レンタカーサービス、保険代理店サービスを強化し、顧客の車に関する需要に対し、ワンストップでサービスを提供できる体制作りを積極的に進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は25,827百万円（前年同期比25.1%増）、営業利益は355百万円（前年同期比79.8%増）、経常利益は228百万円（前年同期比128.9%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間に株式会社チャンピオンのM&Aに伴う特別利益の発生があったため、前年を下回り110百万円（前年同期比26.8%減）という結果となりました。

なお、当社は、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの経営成績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしていません。

(自動車販売関連)

当第2四半期連結累計期間は、前第3四半期以降に出店したMEGA専門店3店舗が寄与し、四輪小売販売台数は、6,851台（前年同期比12.6%増）となりました。加えて買取専門店とバイク販売店が寄与し、当第2四半期連結累計期間における売上高は24,094百万円（前年同期比24.6%増）となりました。なお、新車・中古車販売、買取を自動車販売関連としております。

(附帯サービス関連)

販売台数の増加と整備工場新設により、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,732百万円（前年同期比31.3%増）と好調に推移しました。なお、整備・钣金・ガソリンスタンド、保険代理店、レンタカーを附帯サービス関連としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は14,798百万円で、前連結会計年度末に比べ1,841百万円増加しております。主な要因は、商品が2,214百万円増加した一方、現金及び預金が589百万円減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は10,068百万円で、前連結会計年度末に比べ1,029百万円増加しております。主な要因は、建物が535百万円、構築物が101百万円、有形固定資産のリース資産が212百万円、建設仮勘定が84百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は16,292百万円で、前連結会計年度末に比べ977百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が1,057百万円、前受金が326百万円増加した一方、買掛金が568百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は6,537百万円で、前連結会計年度末に比べ1,664百万円増加しております。主な要因は、長期借入金が1,463百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,035百万円で、前連結会計年度末に比べ229百万円増加しております。主な要因は、資本金が116百万円、資本剰余金が116百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ概ね計画通りに進捗していることから、2021年11月12日に「2021年9月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はございません。今後の進捗状況等に応じ、精査の上、開示すべき事象が生じた場合には速やかに公表いたします。なお、当該業績予想は本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,476,637	887,143
売掛金	2,405,378	2,571,183
商品	8,088,098	10,302,110
貯蔵品	1,987	2,104
前払金	679,489	648,920
前払費用	186,838	174,729
その他	117,904	211,852
流動資産合計	12,956,334	14,798,045
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,363,029	4,898,711
構築物（純額）	889,973	991,790
機械及び装置（純額）	96,808	89,620
車両運搬具（純額）	102,955	117,709
工具、器具及び備品（純額）	290,555	306,991
土地	1,487,285	1,487,787
リース資産（純額）	321,261	534,084
建設仮勘定	353,591	438,431
有形固定資産合計	7,905,461	8,865,128
無形固定資産		
のれん	72,565	62,568
ソフトウェア	18,054	17,619
リース資産	100,234	102,492
その他	103	103
無形固定資産合計	190,958	182,785
投資その他の資産		
出資金	838	848
保証金	711,972	728,624
長期前払金	78,436	88,984
長期前払費用	11,445	10,953
繰延税金資産	74,350	125,371
その他	65,859	65,907
投資その他の資産合計	942,903	1,020,689
固定資産合計	9,039,323	10,068,602
資産合計	21,995,657	24,866,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,715,730	1,147,722
短期借入金	9,805,771	10,863,660
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	1,763,597	1,667,008
リース債務	92,745	138,464
未払金	120,318	152,841
未払費用	210,557	211,845
未払法人税等	191,534	131,480
前受金	1,146,931	1,473,929
預り金	70,903	73,083
返金負債	-	232,379
賞与引当金	108,805	86,950
役員賞与引当金	8,070	-
その他	20,533	53,367
流動負債合計	15,315,498	16,292,731
固定負債		
社債	30,000	-
長期借入金	4,060,093	5,523,284
リース債務	368,518	557,492
資産除去債務	24,868	24,973
長期前受金	366,224	398,658
繰延税金負債	23,654	33,542
固定負債合計	4,873,359	6,537,952
負債合計	20,188,858	22,830,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,806	557,955
資本剰余金	460,772	576,921
利益剰余金	893,959	881,259
自己株式	△53	△112
株主資本合計	1,796,484	2,016,024
新株予約権	10,315	19,939
純資産合計	1,806,799	2,035,963
負債純資産合計	21,995,657	24,866,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
売上高	20,653,303	25,827,047
売上原価	17,532,985	21,534,147
売上総利益	3,120,318	4,292,899
販売費及び一般管理費	2,922,710	3,937,682
営業利益	197,608	355,217
営業外収益		
受取利息	865	669
協賛金収入	2,727	-
受取手数料	5,601	3,468
販売協力金収入	4,950	4,000
その他	11,477	6,196
営業外収益合計	25,620	14,334
営業外費用		
支払利息	56,685	92,591
支払手数料	66,522	47,901
その他	24	171
営業外費用合計	123,232	140,665
経常利益	99,996	228,886
特別利益		
負ののれん発生益	112,046	-
特別利益合計	112,046	-
特別損失		
固定資産除却損	639	289
特別損失合計	639	289
税金等調整前四半期純利益	211,403	228,597
法人税、住民税及び事業税	60,633	104,507
法人税等調整額	△536	13,311
法人税等合計	60,097	117,819
四半期純利益	151,306	110,778
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,306	110,778

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	151,306	110,778
四半期包括利益	151,306	110,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,306	110,778
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211,403	228,597
減価償却費	226,057	312,762
のれん償却額	9,997	9,997
負ののれん発生益	△112,046	-
固定資産除売却損益 (△は益)	639	289
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,080	△21,855
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△8,070
受取利息及び受取配当金	△865	△669
支払利息	56,685	92,591
売上債権の増減額 (△は増加)	208,757	△165,804
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△957,020	△2,218,614
前払金及び長期前払金の増減額 (△は増加)	△306,712	43,161
前払費用の増減額 (△は増加)	△8,668	11,041
仕入債務の増減額 (△は減少)	753,861	△568,007
前受金及び長期前受金の増減額 (△は減少)	△286,676	369,745
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,010	2,013
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	18,450	26,972
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,492	△58,547
その他	△31,862	50,920
小計	△137,439	△1,893,474
利息及び配当金の受取額	155	8
利息の支払額	△56,977	△92,251
法人税等の支払額	△10,663	△191,534
法人税等の還付額	48,347	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156,577	△2,177,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,090,193	△982,155
無形固定資産の取得による支出	△5,180	△3,062
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△581,972	-
貸付けによる支出	△500,000	△500
貸付金の回収による収入	3,571	42
保証金の支払いによる支出	△80,948	△25,155
保証金の払戻しによる収入	2,926	350
保険積立金の積立による支出	△178	△348
その他	-	390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,251,976	△1,010,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,245,821	1,057,889
長期借入れによる収入	1,604,068	3,314,100
長期借入金の返済による支出	△580,594	△1,947,497
リース債務の返済による支出	△21,123	△32,385
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
新株予約権の発行による収入	-	10,395
株式の発行による収入	8,952	225,756
自己株式の取得による支出	-	△59
配当金の支払額	△7	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,227,117	2,598,199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△181,436	△589,493
現金及び現金同等物の期首残高	1,105,733	1,476,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	924,297	887,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使により、当第2四半期連結累計期間において資本金が116,149千円、資本準備金が116,149千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が557,955千円、資本剰余金が576,921千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、ローン販売で計上する手数料売上高のうち、将来の早期返済により見込まれる返金額を除いた額を売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,317千円、売上原価は3,559千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ27,757千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は123,478千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。